

みんなの知らないあなのひみつをつたえよう

- 1 日時 令和2年11月18日(水) 第5校時
- 2 学年・学級 2年1組 男子8名 女子10名 計18名
- 3 単元名 みんなの知らないあなのひみつをつたえよう 「あなのやくわり」(東京書籍)

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の第1学年及び第2学年「知識及び技能」の指導事項「(1)ア 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。」を受けている。また、「思考力、判断力、表現力等」における「B 書くこと(1)」「イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。」「C 読むこと(1)」において、「ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」を受けて設定している。書き手が述べている事柄を正確に捉えるために、文章の中で重要になる語や文を見つけ、それを手がかりにして読み取ることをねらいとしている。

本文に出てくる「穴の空いている物」は、児童の身の回りに多くあるが、普段考えもしない児童もいると思う。穴を身の回りから見つける活動の際には、児童は強い好奇心を持って学習に臨むことができるものとする。本文は説明文で内容が段落ごとに同じ形で繰り返し出てくるので、大切な言葉や文章を把握しやすい。また、「始め」「中」「終わり」の構成も捉えやすい。身近にある物なので、自分の経験と結び付けて穴の役割を読み取り、オリジナルの文章を考えることにも活動を広げることができる単元である。

この単元で身に付けさせたい指導事項		
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等	ウ 学びに向かう力、人間性等
・言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと(1)ア	・「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。(1)イ ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。(1)ウ	・身の回りにある穴の役割について、文章の内容と自分の体験とを結び付けて考え、考えたことを文章にまとめている。

(2) 児童観

学習についてのアンケート（10月実施 18人回答）の結果は次の通りである。

	肯定的な回答（人）	否定的な回答（人）
国語の勉強は好き	15	3
国語の勉強はよく分かる	15	3
文章を上手に書きたいと思っている	16	2
文章を上手に書くことができる	11	7
説明する文章を書いてみたいと思っている	14	4
説明する文章を書くことができる	12	6
他の人に説明することができる	12	6

アンケートにおいて「国語の勉強が好き」と答えた児童は82.4%、「国語の勉強はよく分かる」と答えた児童も82.4%と回答し、また90%近い児童が文章を上手に書きたいと思っているなど、児童は説明的な文章に対する学習において意欲的である。しかし、書くことができるかということには自信を持って「できる」と答える児童は少なくなる。ペアやグループにより答えを共有した後、発表させるなど、自信をもって答えるための手立てが必要である。1対1の個別支援が必要な児童も数人おり、様々な場面で支援が必要である。そのような児童については、要因分析（下表）に記したように支援を行っていきたい。

児童は、これまで「たんぼぼ」の学習で、説明文には「始め」「中」「終わり」等の構成があることと、事柄や時間の順序があることについて学習している。また、「サツマイモのそだて方」では、説明の仕方に違いがあることについて学習した。さらに「ビーバーの大工事」では、理由を伴った説明の仕方があることを学んでいる。構成については理解を進めているので、本単元において順序や事柄を意識させて定着を図りたい。

学習活動	想定されるつまずき	考えられる手立て	項目
授業前	●不注意・多動	●学習物の準備を意識させ、机上の環境を整える。	場の構造化
		●机の中には学習に必要なもの以外は入れない。	刺激量の調整
		●ノートのマスや枠から文字が出ないことを意識させている。	焦点化
		●落ち着いてゆっくり書くことを伝えている。	焦点化
	●見通しのなさへの不安	●教材文の読み取りを行う段階から、ワークシートを使って見通しを持たせる。	時間の構造化
		●1対1での肯定的な評価を行う。	クラス内の理解促進
	●状況理解の不十分さ	●発表の際には、書くことをやめさせるなど、しっかりと話を聞くルールを守らせる。	ルールの明確化
		●具体物と言葉を一致させるなど、言葉の理解を深める。	
		●場の雰囲気にならなれないように時間を区切る。	場の構造化

	●定着への不安 定さ	●話し言葉と書き言葉につながりがもてる指導をする。 カタカナ，長音など。 ●漢字を正しく使うことを日ごろから意識させる。 ●漢字小テストの積み重ね	スモールステップ化 スモールステップ化 スモールステップ化
導入	●学習への不安 ●言葉としての まとまりに課題	●1時間の学習の流れを掲示物で示し，本時の学習活動 の見通しを持たせる。(あ)(ひ)(が)(し)の活用 ●注目させる場所に色づけし，児童の注意を喚起する。	学習内容の視覚提示 (視覚化) 学習内容の視覚提示 (視覚化) 焦点化
展開	●視機能に課題 ●理解のゆっく りさ	●ワークシートの記入に困り感を持っていないか声をか ける。 ●友だちの説明から本時の学習内容の理解を促す。	時間の構造化 学習形態の工夫(共 有化)
終末	●言葉としての まとまりに課題	●ワークシートに振り返りを書かせ，学習したことをま とめる。	ふり返りでの言語化 (視覚化・共有化)
授業 後	●学習内容の定 着の弱さ	●既習事項を掲示し，学習内容を視覚的に分かりやすく する。	既習事項の提示(視 覚化)

(3)指導観

本単元では，説明的な文章の構成をおさえ，本文中の例示されている物には，何のために穴が空いているのか，驚きや楽しみを大事にさせながら学習に向かわせたい。そして，穴の空いている理由を読み取っていききたい。その際，理由を述べるために大事な言葉や文を見つけさせる。自分たちの身の回りには他にも穴の空いているものが数多くあることを伝え，その役割を考えさせながら見つけさせたい。自らが調べた穴の役割を，事柄の順序に気をつけて構成させたり，説明するためにもっともな理由をつけたりするなど，書くことを目的に大事な話や文に着目して文章を読むことを意識させたい。そして，自らが書いた文章を他者と交流することにより，読み手を意識した文章を書くことができるようにしたい。

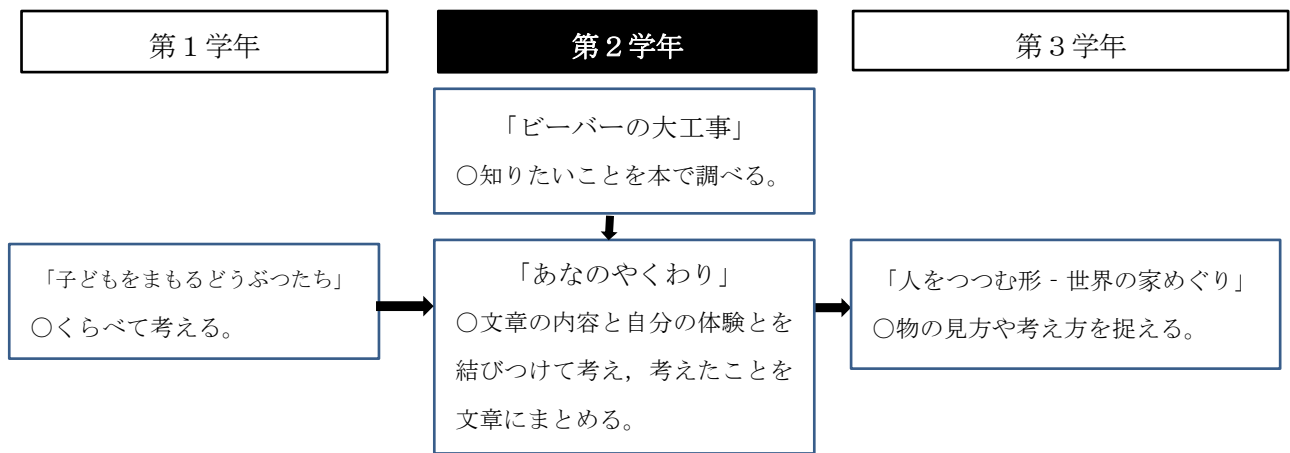
○児童のつまづきを解消するための取組

※児童観を参照

○学び合いのできる学級づくり 等

- ・視覚的な掲示をしておき，しばしば個別に声をかけることを通じて，学習の注意を向ける。
- ・話し手の言葉を常に聞き合える学級の雰囲気やルール作りを行う。
- ・他の人の発表に対して，自分の意見と比べながら聞く。
- ・自分の考えを深めるために，ペアで話したり，自分の考えを書いたりする時間を設定する。
- ・学習内容を生かした説明を行えるようにする。

5 本単元の学習の関連と発展



6 単元の目標

- (1) 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
【知識及び技能】(1) ア
- (2) 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
【思考力・判断力・表現力等】B (1) イ
- (3) 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
【思考力・判断力・表現力等】C (1) ウ
- (4) 言葉がもつ良さを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝えようとする。
【学びに向かう力、人間性等】

7 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	①「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ②「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	①進んで文章の中の重要な語や文を選び出し、学習の見通しをもって考えが明確になるよう、文章にまとめようとしている。

8 指導と評価の計画 (全14時間) 本時 第10時

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 穴の開いたものに興味を持たせるために様々な写真をクイズ形式で提示する。 ・ 穴の開いた様々な物の写真をクイズ形式で提示し、それが何の穴なのか、考えたことを発表させる。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにも穴があることに触れ、そのことを他の人に伝えるという目標を持つことで、学習への意欲を高める。 	
2	<p>○本文を通読し、「始め」「中」「終わり」といった説明文の構成を捉える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項である「始め」「中」「終わり」の文章構成と意味を捉えさせながら、本文に書いてある内容を押さえ、自分が文章を書く活動に生かせるように意識させる。 	○知①〈発言・ワークシート〉
3 ～ 12	<p>< 4つの物の写真や説明から、重要となる言葉や文を読み取る ></p> <p>○「説明の順序を確かめる。」</p> <p>①50円玉に穴があいている理由</p> <p>○「説明の仕方の違いを捉える。」</p> <p>②プラグに穴があいている理由</p> <p>○「穴が空いていることによって生じる良さについて考える。」</p> <p>③植木鉢に穴があいている理由</p> <p>○「穴が空いていることによって生じる良さについて考える。」</p> <p>④しょうゆ差しに二つの穴がある理由</p> <p>○「穴が空いている理由が複数ある物の理由の説明の仕方に着目する。」</p> <p>○本文を読んだ感想を、自分の経験と結び付けて伝え合う。</p> <p>○身の回りにある穴の役割を考える。</p> <p>○説明する文章を書くためのポイントを振り返る。</p> <p>○本文で学習したことを生かす。</p> <p>①「何の穴か」②「あなの役割」③「くわしい説明」④「さらにくわしい説明」</p> <p>○文章に書きたい物を決めて、穴の役割について考えたり調べたりする。</p> <p>○本文の説明の仕方を生かして、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習から、説明の文章にはどんな特徴があるのか想起させる。 ・穴について4つの写真の説明があり、同じ説明の仕方がされていることを確認する。 ・同じ文型の繰り返しを意識させ、説明の内容と仕方の理解を深めさせる。 ・「始め」「中」「終わり」を確認し、「中」に書いてある内容を捉えさせる。 ・本文中の説明に必要な語や文を選び出させる。 ・写真と関連付けて考えさせる。 ・実物と文章を関連付けて考えさせる。 ・穴があいていることの良さや、もし穴が空いていなかったらどうなるのかを考えさせる。 ・文章を書く際に「そこで」「～のための」「なので」などの言葉を使うと、より相手伝わりやすい文章になることを考えさせる。 ・つなぎ言葉を意識させ、説明する事柄の順序について自分なりの考えをもたせる。 ・穴が空いていることによって利便性が高まったり、使用する際の困難さが減ったりすることを捉える。 ・楽しんで読書をしたり調べたりして、自分の考えを伝えようとする。 ・自分の実生活の中から、見たり見つけたりしたことのある物を想起させ、穴が空いていることによってどんな良さがあるのかを考えさせる。 ・穴の空いている物について、たくさんの意見を挙げさせ、次時への学習の意欲を高めさせる。 ・どんな文章を書けばよいのか、また、どんな説明をすればよいのかといった学習のゴールを例示 	<p>○知①〈発言・ワークシート〉</p> <p>○思①〈ワークシート・行動観察〉</p> <p>・態〈発言・行動観察〉</p> <p>○思②〈ワークシート・行動観察〉</p> <p>○思①〈ワークシート・行動観察〉</p>

	身の回りにある穴の空いている物についての文章を書く。	し、見通しを持たせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・本文でこれまでに学習した内容を振り返り、「始め」「中」「終わり」の構成を再度確かめる。 ・重要となる語や文を確認させる。 ・詳しい説明を書き加えるとより分かりやすくなることを伝える。 ・自分が調べたい穴の役割についてワークシートにまとめさせる。 ・書いた文章を読み合い、さらに説明の仕方が詳しくなったり伝わりやすかったりする文章を再考させる。 	
13	○学習を振り返る。 ○交流会を開いて発表会をする。	・他のクラスに作成した文章を聞いてもらい、感想を交流し合う。	・態〈発言・行動観察〉
14	評価テスト	・学習内容の定着を確認する。	○知①・思① 〈ワークシート・行動観察〉

9 本時の目標

○事柄の順序を意識して、穴の役割について文章を書くことができる。

10 評価の観点

観点	評価規準	A 十分満足できる	B おおむね満足できる
・ 思考力・判断力等	本文の説明の仕方を生かして、身の回りから調べた穴の空いている物についての文章を書くことができる。	本文の説明の仕方を生かして、文章構成や事柄の順序、言葉のはたらきを意識し、文章を書くことができる。	本文の説明の仕方を生かして、言葉のはたらきを意識し、文章を書くことができる。

11 準備物

提示資料，具体物，ワークシート，電子黒板，実物投影機

1 2 本時の流れ (10 時間目 / 全 14 時間)

時間 形態	学習活動 T : 主な発問・指示 C : 予想される児童の反応 [] 予想される Z 児のつまずき	・評価 (方法) ○留意点 ◆児童のつまずきを解消するための手立て
課題の 設定 全体	<p>1 自分たちで調べたものの名前を発表する。</p> <p>T これまでたくさんのあなの空いたものを調べましたね。どんなものを調べたか教えてください。</p> <p>C : ドーナツ C : ラムネ C : ボタン …など</p> <p>何を進めていけばいいの か見通しが持てない。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <p>自分で調べたあなのやくわりをせつ明する文しょうを書くことができる</p>	<p>○前時までの学習を振り返り、各自が調べた「あな」について確認する。</p> <p>◆各児童が、調べた穴の役割について知りたくなるような導入にする。</p> <p>◆1時間の学習の流れを掲示物で示し、本時の学習活動の見通しを持たせる。</p>
整理 全体	<p>3 これまでの学習を振り返り、説明の順序を振り返る。</p> <p>T 説明の文章は、3つに分かれていましたね。</p> <p>C 「始め」「中」「終わり」</p> <p>T 今日は「中」の部分について考えていきます。本文には、何が出ていたのかな。</p> <p>C 「50 円玉」「コンセント」「植木鉢」「しょうゆさし」</p> <p>T 先生の用意した 50 円玉の説明を見てください。これでいいかな？</p> <p>C 説明が足りません。「50 円玉にはあながあいています。」と説明したほうがいいです。</p> <p>C 他にもくべつする<u>ための</u>「ための」がいます。</p> <p>C 理由だから「から」がいます。</p> <p>T 説明するために間に必要な言葉がありましたね。</p> <p>T 他にもあったら良いつなぎ言葉はありませんか。</p> <p>C これは～</p> <p>C このことにより</p> <p>C つなぎの言葉があったらいいです。</p> <p>言葉や文章の書き方が分からない。</p>	<p>○説明の順序を確認したり、二つの穴の役割について説明する言葉を確認したりする。</p> <p>◆すでに知っている学習事項を発表させることにより、自信を持たせる。</p> <p>○書き方に困っている児童には教科書を見てもよいことを伝える。</p> <p>○本文中の大事な言葉に線を引かせているので、説明のポイントの参考にさせる。</p> <p>○他にも理由を述べるために使えるような言葉はないか考えさせる。</p> <p>○これまでに出てきた物の説明にはどんな言葉が使われていたのかを想起させる。</p> <p>◆説明文を書く際に参考となる教材文のポイントを黒板に掲示する。</p> <p>◆間違いのある文章を例示することによって重要となる語についての理解を深める。</p>
表現 個人	<p>4 ワークシートを使って文章を考える。</p> <p>T : 今のような説明するとき大切に言葉をつかって文章を書いてみましょう。</p>	<p>◆毎回同じ形のワークシートを活用し、学習できるようにする。</p>

表現	つなぎの言葉を選んで使うことを意識させる。	◆どんな説明ができ、どんな文章が書けたらよいかゴールイメージを視覚的に示す。
	友だちと交流させるために立ち歩いていいことを伝える。	◆記入に困っていないか、声掛けをする。
全体	5 説明の仕方を確かめる。	○必要に応じて、書くためのポイントを確認する。
ペア	T: 説明してくれた人はどんなポイントを使っていたか? できた人は発表してください。	○他の児童に自分が調べた穴の役割について伝えいくことを確認し、意欲付けを図る。
全体	C: 「~のため」という言葉を使っていました。	○ペアで大切な言葉が使えているかを交流する。
	C: 「のです」「からです」を使っていました。	○早くできた児童は2つ目のメモについても文章を書かせる。
	T: ではもう一度、友達の発表が生かせるかどうか、自分の書いた内容を確認してみましょう。	◆3人の児童に発表させ、説明の文章のポイントを確かめる。
		○電子黒板を用いて発表者のワークシートを提示する。
まとめ	6 本時を振り返り、次時の学習内容を伝える。	○大事なポイントに即して文章が書けているかを振り返る。
全体		○クラス間での交流会を開き、自身の調べた穴の役割を説明する機会があることを伝える。

13 板書計画

- ・ 交流会をしよう。
- ・ からです。
- ・ のための
- ・ これはです。

りゆうの説明で大事なこと



〈中〉

あなたのやくわり

にいだゆみこ

書くことができる。

④ あなたのやくわりをせつ明する文しようを

わたしたちの みの回りには あなたのあいて

いるものが たくさん あります。あなたは、何

のために あいているのでしょうか。

五十円玉のまん中にはあなたがあ

いてます。

これは百円玉とくべつするためのあ

なです。

五十円玉と百円玉をまちがえる人

がいたからです。

このように、あなたには、いろいろな やくわ

りがあります。このほかにも、みの回りには

あなたの あいているものが たくさんありま